

『一生懸命』幻の新座市議会報告第135弾!



たかむらともや

2016年6月30日発行

③ マジやばい!!

それは親友の昭(東北大の同期)と5時間テニスをした後に起きました。「シングルスやるのは42年ぶりだぞ!」「20歳の時だからな」とシングルスをやった。20歳年下のペアと2セットもやってもらい…ほぼ休みなく5時間で5セットテニスをしたのです。余りにも楽しくて、暑さも気になりませんでした。水は2L以上飲んでいたし、塩分も採っていました。二人で遅い昼ご飯を食べていた最中に、太ももが痙攣しはじめたのです。昭に何とか家まで送ってもらったのですが、痙攣は収まりません。僕の苦しみ方を見ていた空が「救急車を呼ぶよ!」

空父「足が攣ったくらいで呼んだら恥ずかしいよ」「もう1時間も続いているんだよ。この痙攣のしかたは異常だから救急車を呼ぶよ」空は自分の携帯から119番に通報し、救急隊員に状況を的確に説明し、救急車を誘導し、そして救急車に乗り込んでくれました。「熱性けいれんですね」「酷い脱水状態です」「腎臓の機能も低下しています!」「普通は点滴1本で治るのですが…」点滴を2本打っても激痛が走りました。「3本打って駄目なら入院です」その3本目で生きかえりました。3時間に及ぶ痙攣から解放されたのです。テニスの疲労からくる痙攣ではなく、熱中症だったのです。血液がドロドロ状態でした。足の筋肉が痙攣してくれたので助かりましたが、心臓や脳にいついたら危険でした。空ママが不在の中、空の冷静で的確な判断に救われた空父でした。空に感謝、感謝です。



5月22日(日)の川掃除の写真です。新座駅から大輔に続き、登さんが初参加となりました。6月の川掃除は26(日)の予定です。③

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。

1954年(昭和29年)2月、東京青山生まれ。新宿区立西戸山中学校、都立石神井高校卒。北海道大学3年生の時に、突然教師を目指し、北大卒業直後の4月、23歳で五中1期生の3年4組を担当する。「一生懸命」は20年間書き続けた学級通信の名前。大好きな政治家は田中角栄。ホセ・ムヒカ。つまり民衆の側にいる政治家たち。

大嫌いな政治家は断トツで安倍晋三。そして、舛添要一。つまり民衆の側にいない政治家達。

大好きなものは「テニス」「音楽」「子どもたちの笑顔」「川掃除」「駅立ち」

大嫌いなものは「自民党」「弱い者いじめ」「TPP」「煙草の煙」「集団的自衛権」「消費税」「改正派遣法」「マイナンバー」「欲に塗れたグローバリストと政治家」

この写真は議会ですと戦ってきた須田市長との最後の一般質問の後の写真です。市長とのツーショットはこれが最初で最後になりそうです。③

たかやんの応援団 で 検索



たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 最後の一般質問

救急車で運ばれた次の日は日曜議会がありました。入院していたら、苦しい状態にある人達の思いが伝わらない。何としてでも議会に行かなきゃ！！その思いが通じたのか、無事に登壇することが出来ました。須田市長との最後の戦いが始まりました。

最初は区画整理事業の清算金の問題です。新座駅南口第二区画整理事業で発生した清算金の額と人数に驚きました。100万円以上徴収される人が77人もいたのです。その内、200万以上が10人、300万以上が1人、400万以上が2人ということでした。この区画整理事業は17年もかかりました。当時は現役でも今は年金暮らしという方達も多くなります。説明会では「100万を超えることはないでしょう」と言われていたのに、突然100万以上払ってくれと言われたら、冗談じゃありません！！一方で、400万以上交付される人は24人もいました。土地をたくさん持っている人達には嬉しい区画整理事業だったはずですが。街が整備されて資産価値が上がっても、土地を提供できない人は厳しい結果が待っているのです。

こどもの貧困化が進む中、子ども食堂を市が運営したり、補助できないか質問しました。「現段階では考えていない」という答弁でしたが、「相談が来たら対応します」とも言っていたので、可能性はあるなと感じました。同じ思いを持っている人達と連携して、「子ども食堂」を盛り上げていきたい。そう思っています。母子家庭、父子家庭の貧困化も問題ですが、個食の問題もあります。子ども食堂の役割は大きいと思います。ボランティアの気持ちはあっても、場所が大変です。前もって告知しないと意味がありませんので、集会所を優先的に使えるように市に要望しました。

市の地震対策に対する質問をしました。答弁を聞いて、何ともおそまつだと思いました。熊本地震で問題になった車中泊を取り上げたのですが、そもそも避難所に車で来ることを想定していないというのです。寝袋やテントなどの備品はゼロに近い状態なのに、学校の校庭や体育館に何を手にして歩いて行けと言うのでしょうか。車がある家庭はどの家庭も食料や水や貴重品を車で運ぼうとするのではないのでしょうか。市の地震に対する想定の甘さを指摘しました。

③ 日米地位協定だと！？

総合運動公園の整備について質問しました。答弁の中に「日米地位協定があるので、陸上競技場に照明塔は付けられません」という言葉があり、ビックリしました。『東京オリンピックがあるのだから、国とも米軍とも交渉して欲しい！』と要求しました。新座市には素晴らしい陸上選手が何人も出ています。オリンピックで彼らが活躍できるように、最低限の整備が必要だと訴えました。

保谷・朝霞線については本当にガッカリしました。27mの大型道路が出来ることでのメリットとデメリットを資料要求したのですが、恥ずかしいような内容だったのです。あれでは地域住民は絶対に納得しません。市長が上田知事に突きつけた条件を県は一つも解決できていません。このままいくと、100年たってもできない計画道路になるでしょう。

PTAに対する質問で、教育長は「PTAは任意団体です」とハッキリ言いました。入ることが強制ではないということです。PTAに入らないという選択肢があることを知ってください。ボランティア団体なので、一人一役についても出来ないことは「できません」ということが大事です。PTAのことでお悩みの方は相談してください。お待ちしております。

③ 戦いが終わって・・・

須田市長が引退すると聞いて、川越から駆けつけた千恵子さんです。「たくさんの議事を傍聴してきましたが、原稿を読まないで自分の意見を言える市長は他にはいません。新座市が羨ましいです。」と千恵子さんは言います。僕らには当たり前のことが、他の市では違うようです。『引退したら、テニスやりましょう！』『リハビリしてからですが、やりましょう！』戦いが終わって、市長と約束をしたのでした。



読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m (_ _) m